

ミンダナオで平和に向けた支援継続を表明 01



小学校教室引き渡し式に出席した田中理事長

田中明彦理事長は、8月23日から26日にかけてフィリピンを訪問し、ベニグノ・アキノ3世大統領と会談を行うとともに、ミンダナオ島で実施中のJICA事業の引き渡し式に出席しました。

26日の会談では、前日に借款契約の調印に至った「マニラ首都圏主要橋梁耐震補強事業」と「ダバオ市バイパス建設事業（南・中央区間）」の協力について、アキノ大統領が謝辞を述べました。これらは、日本の技術を活用した「質の高いインフラ」の整備支援として期待されています。

これに先立つ24日、田中理事長はミンダナオ島マギンダナオ州北ウピ町を訪問し、パンサモ口移行委員会（モハガー・イクバル議長と共に「パンサモ口包括的能力向上プロジェクト」で支援した小学校の教室引き渡し式に出席しました。

この事業は、昨年3月のフィリピン政府とモロ・イスラム解放戦線（MILF）による包括和平合



アキノ大統領と会談する田中理事長（左）
© Malacañang Photo bureau

意文書の署名後、ミンダナオ紛争影響地域の20カ所に小学校や公民館施設を建設する支援の一環として実施されたものです。引き渡し式で田中理事長は、JICAはコミュニティの人々に着実に届く支援を目指してきたことや、今後も人々に寄り添いながらミンダナオの平和定着のために協力を続けていくことを述べました。

さらに、25日にはMILFのムラド・イブラヒム議長、26日にはムスリム・ミンダナオ自治政府のムジブ・ハタマン知事と会談し、和平定着に向けた課題や今後の支援の在り方について意見交換を行いました。

JICAは包括和平合意前から、ミンダナオ国際監視団の社会経済開発部門に職員を派遣し、和平後を見据えた人材育成などにも取り組んできました。今後も将来の行政官育成や中長期的な地域開発計画作りなど、ミンダナオの支援を強化していきます。

アンゴラ初の円借款契約に調印 02



署名後に握手を交わす田中理事長（左）とアルマンド・マヌエル財務大臣

JICAは8月17日、アンゴラ共和国政府との間で「電力セクター改革支援プログラム」を対象として、236億4000万円を限度とする、同国初の円借款貸付契約に調印しました。

アンゴラでは、2002年の内戦終了以降、復興と開発が進み、現在では、ナイジェリア、南アフリカに次ぐアフリカ第三の経済規模を有する成長市場として注目を集めています。しかし、電化率は約30%で、企業活動などへの影響も深刻化しています。

「電力セクター改革支援プログラム」は、電力分野を重点の一つとし、外国投資拡大に向けた制度改善などにも取り組む同国政府の開発計画を後押しするもの。JICAはアフリカ開発銀行と協調し、①電力セクターの効率性・競争性・持続性の改善、②電力セクターにおける民間投資の促進、③公共財政の透明性と効率性の向上、④ジェンダー主流化と環境配慮の促進、⑤投資環境の改善のための政策・制度改革を通して同国の持続的发展に貢献します。

「世界の笑顔のために」プログラム 物品募集中! 03



モルディブに届けられた野球用具

「私はもう使わないけど、まだ使える」。そんな物品があったら、「世界の笑顔のために」プログラムに参加してみませんか。

教育、福祉、日本文化、スポーツなどの分野で、開発途上国が必要としている物品を日本国内で募集し、JICAボランティアを通じて現地の人々に届けるこのプログラム。個人はもちろん、学級活動の一環や、企業、地域で集めるなど、参加の形はさまざまです。

鍵盤ハーモニカや書道用具など、あなたの身近にあるものが国際協力の一歩になります。たくさんのご応募をお待ちしています。

【参加申込書受付期間】10月1日（木）～11月16日（月）

【問い合わせ】青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラム係

【TEL】03・5226・9196

【URL】<http://www.jica.go.jp/partner/smile/>